安全・安心なまち「山滝」を目指して

大沢町駐在所

藤原　敏洋

山滝地区の皆様、初めまして、私は令和４年４月１日から大沢町の駐在所勤務員として務めております藤原敏洋と申します。

平素より山滝地区の皆様には、警察活動へのご理解とご協力をいただき、誠に有り難うございます。

私からは、自然災害発生時のお願いについてお話しします。

自然災害についてですが、近年の豪雨の現状は我々の想像を超えるものがあり、山間部である山滝地区においては、特に土砂災害の発生が懸念されます。

災害発生時には、可能な限り皆様の安全の確保に努める所存でありますが、皆様も、自身の安全を第一に考え、移動（避難）が可能な状況であるうちに、市役所等が開設する避難所や別居親族宅等へ早めの避難を心掛けることを、地域の皆様には重ねてお願いします。

避難をするにあたって、過去に避難した理由の回答で多かったのが「隣人が避難したから」との理由であり、地域の皆様がいち早く避難することが、隣人の避難意識向上にも繋がるので、早め早めの避難をお願いします。

今後とも、内畑駐在所と連携を密にし、全身全霊で山滝地区の治安維持に務めてまいりますので、引き続き警察活動への、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。

内畑町駐在所

玉城　元気

平素より地域の皆様には内畑駐在所の活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、岸和田市内において、特殊詐欺と思われる不審な電話が多数かかってきています。

警察官、銀行協会職員等を名乗り、「あなたの口座が犯罪に利用されています。キャッシュカードの交換手続きが必要です。」と言ったり、役所の職員等を名乗り、「医療費等の過払い金があります。キャッシュカードが古いので、カードを引き取りに行きます。」等と言って、暗証番号を聞き出しキャッシュカード等をだまし取る（脅し取る）手口が多発しています。

被害に遭わないために「カードは誰にも渡さない。」「暗証番号は誰にも教えない。」この二つを必ず守って下さい。

また、市役所職員等を名乗り、医療費、税金、保険料等について、「還付金があるので手続きして下さい。」等と言って、ＡＴＭを操作させ、口座から犯人の口座に送金させる手口も多発しています。

「ＡＴＭで還付金」と言われたら、全て詐欺ですので、すぐに電話を切断してください。

これらのアポ電には、「自動録音機等の防犯機能付き電話機の設置」や、「在宅中でも留守番電話にしておく」「番号通知機能の活用」等の対策が有効です。

「うちは大丈夫」と油断せず、特殊詐欺対策を行い、被害に遭わないようにしましょう。

山滝小学校・幼稚園

校園長
根川　和美

山滝校区の皆様には、平素より小学校・幼稚園の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

四月に着任しました校園長の根川和美です。どうぞよろしくお願いいたします。

校庭の桜が満開だったころ、緊張しながら初出勤したことを思い出します。自然や地域環境に恵まれ、また、歴史と伝統がある素晴らしい学校園です。今年の六月十五日には、創立一五〇周年を迎えました。その素晴らしい校区で子どもたちと過ごせることをたいへんうれしく思っております。子どもたちは、素直で、やさしく、話をよく聞くことができ、何事にも一生懸命取り組むことができます。そんな子どもたちの様子から、ご家庭の温かさを感じ、地域の皆様の見守りに感謝申し上げます。

今年度、小学校は八〇名の児童、幼稚園は三名の園児とともにスタートしました。幼稚園は、山直南幼稚園と合同保育を行うことで、集団遊びを経験し、小学校との交流も活発に行っています。

引き続きコロナ禍ではありますが、感染症対策をとりながら、学校園行事は止めることなく、例年に近い形で実施できるよう努めてきました。特に、二学期は全校児童・園児がかかわる行事が多く、それらの活動を通して子どもたちは、互いを認め合い、励まし、たくましくなりました。

これからも、ご家庭や地域のお力添えをいただきながら、子どもたちの健やかな成長を願い、職員一同教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

山滝中学校

校長
中野　真紀

ごあいさつ

今年度四月に着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。平素は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「全国すべての小学校・中学校、高校などについて臨時休業」となったあの日から、三年が経とうとしています。この間、子どもたちの学校生活は様々な制約の中、それでも何ができるか、どうすればできるかを模索する日々でした。新型コロナは、未だ収束に至っていません。しかし暫く学校は、少しずつコロナ以前を取り戻しつつあります。

その一つが、三年振りの『教育キャンプ』実施です。全校挙げての葛城登山は、三年生にとっても初めての行事。全員が音をあげずに、山頂まで登って下りて更には貝塚市蕎原の府立少年自然の家まで自力でたどり着けるのか、そんな心配は無用でした。文字通り雨ニモマケズ、ペースの遅れる班員アレバ班長が休憩を設定し、しんどくなる下級生アレバ上級生が二人分の荷物を持ち、声掛け合って励まし合って子どもたちはやり遂げました。

改めて、ここまでたくましく山滝中生をお育てくださった地域、ご家族の皆様には、感謝申し上げます。一方で体育祭、文化祭等の行事を以前のようにご観覧いただける状況にまだなく、大変申し訳なく残念に思っております。

このようなコロナ禍のもとではありますが、子どもたちの心身ともに健やかな成長のため、今後も変わらずご支援いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

近畿大学泉州高等学校

校長
越智　雅之

ごあいさつ

平素は山滝地区の皆様に大変お世話になり有難うございます。

令和４年４月より、皆様方の強い要望が岸和田市に届き、本校グラウンド裏の道路が整備されました。これにより本校スクールバスが内畑町を通行せずに外環状線から本校に通ることが出来ました。また近隣住民の方にとっても愛彩ランドへの近道となりました。ご尽力に感謝致します。

また、ここ数年は地元の山直中学校、山滝中学校からの入学者も増加し、大阪公立大学、和歌山大学、近畿大学へと進学しております。本校生徒のうち自転車通学のため内畑町内を通行する生徒は、山直中学校や山滝中学校からの入学生と硬式野球部、男子バレー部の生徒となりました。ご迷惑をおかけした場合は、遠慮なく本校へお知らせください。

これまでは、町内の祭りに招待して頂いておりましたが、野球部の寮を昨年で閉鎖しましたのでお力添えが出来ないのが残念ですが、今後とも地域の清掃活動などには協力させていただきます。コロナ禍のため近隣の方々を招待した落語会も中止しておりますが、コロナ状況が終息した時には復活させる予定です。

皆様方のご健勝と地域の発展を祈念いたしております。

山滝子ども会

会長
森　基秋

令和４年度、山滝子ども会の会長を務めさせて頂いております森です。

平素より山滝子ども会の活動に、多大なご支援ご理解ご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。

２０２０年１月上旬より、新型コロナウイルスが蔓延し、ほぼ２年間以上も子ども会活動がストップしている状況の中、今期については、少しずつではありますが、社会全体の動きと共に、活動できる範囲を各部署、各ご担当者様と協議を重ねながら進めてまいりました。コロナ感染者の増減が繰り返す中、子ども達の安心安全を第一に考え、コロナ以前とは違う形での子ども会活動をより発展できるよう考えてまいりたいと思います。

今後の山滝子ども会活動におきましては、状況を考慮しながらにはなりますが、12月はクリスマス会、３月は６年生のお別れ会を考えております。残り行事につきましても、子ども達の安全を最優先し、良い思い出を少しでも作っていけるよう役員一同精一杯務めて参ります。

最後になりますが、現在の山滝子ども会の現状も少しお伝え致します。

近年、山滝地区におきましては、子ども達の人数の減少が続いております。当然のことながら、役員をして頂ける親御様も減少しております。今まで通りの体制を維持できるのか、大きな変換時期に入ってる状況であることをご理解頂ければと思います。

皆様方の更なるご理解とご協力を得て、より良い山滝子ども会活動に繋げてまいりたいと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。